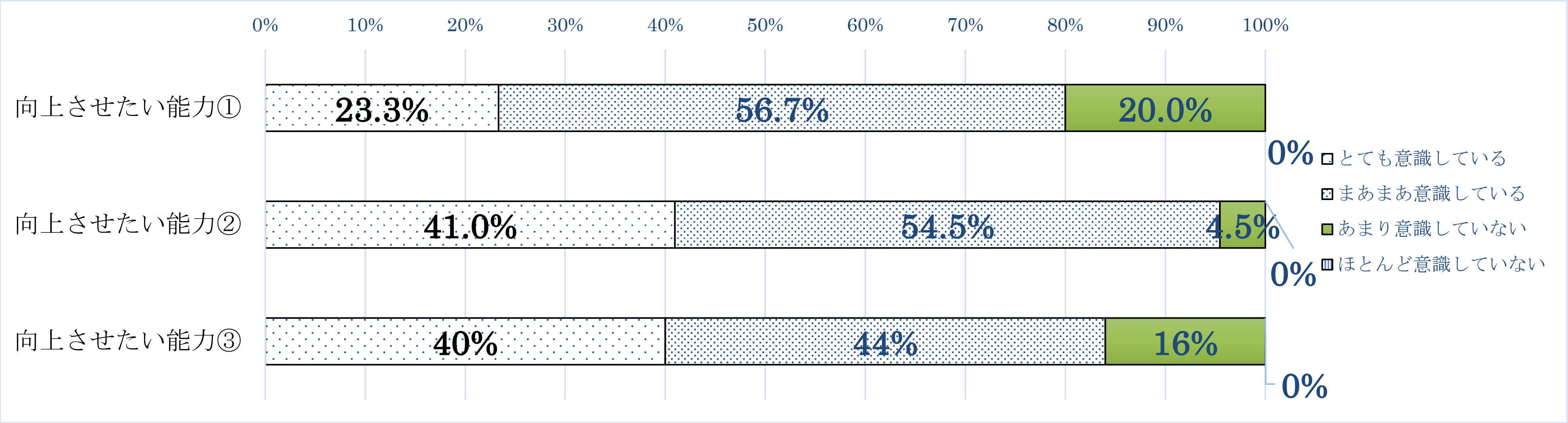
令和５年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【社会教育主事等研修】
フォローアップアンケート集計

【質問内容】

向上させたい力①：最新の施策動向や先駆的取組に関する新たな知識
向上させたい力②：多様な主体との連携・協働に留意しながら、地域課題解決等につながる業務を推進していく能力
向上させたい力③：学習者の主体的な学びや地域社会への参画を促し、多様な特性に応じて学習を支援する能力



【自由記述から】

○新聞などのマスコミで社会教育の先駆的取組、課題が取り上げられていることを見かけたら、その内容を掘り下げて確認し、場合によっては事業に取り上げるように心がけている。
○事業を実施していく際の視野が広がった。視野が広がったことにより、「何を」「どのように」「どうやって」ということを意識して、事業ができるようになった。
○障害者に焦点を当てた内容だったが、障害者以外の人にも当てはまる内容であり、考え方や論点はとても共感できた。
○次年度の事業計画を見直す際に地域課題に対応するため、近隣地域まで視野に入れて連携を行うことを検討している。
○講座を企画する際の視点について、多様な主体との取組や地域社会参加への意識醸成などの観点を踏まえて学習目標を設定するように同僚に話すようにしている。
○企業等とのイベントを実施したことで、信頼関係を築くことができ新規事業の協力依頼もいただけるようになったが、特定の企業体に偏ることが無いように、幅広い受け皿を作ることができるよう、情報共有に務めていきたい。
○住民の共助による共生社会の実現という大きな流れによって、公民館及び職員が設立当初の目的に立ち返って、あらゆる場面において社会教育・生涯学習を意図し、地域の総合振興を図っていく役割が求められるようになっていることを感じる。